

基本的には、国保加入者の皆さんが病院の窓口で支払う医療費の自己負担分は3割分だけで、残り7割分を国や道からの交付金や国保加入者の皆さんから納めていた

皆さん、こんにちは！ 3回目となる今回は、皆さんが病院にかかったときにかかる「医療費」について解説します。

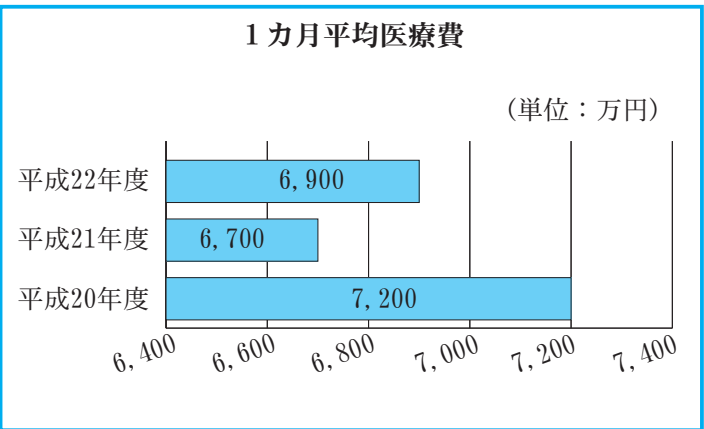


新十津川町の 国保財政がピンチ！

第3回 医療費の状況

新十津川町の国民健康保険財政が 厳しい状況になっています。

担当 住民課戸籍保険グループ ☎76・2130



● 本町の国保で支払う医療費は、どれくらいなの？

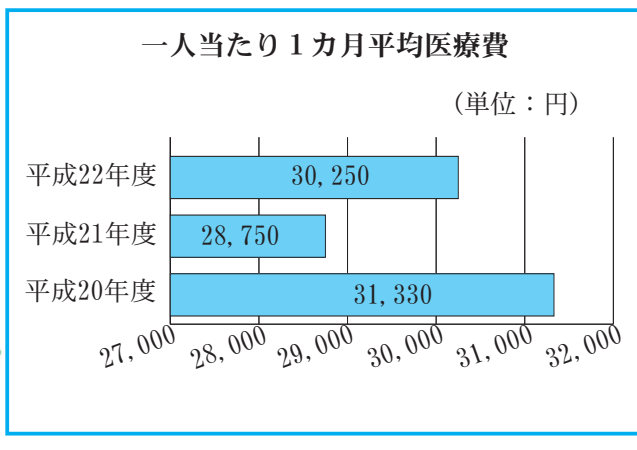
いた国保税などから、町が国保連合会を通じて医療機関へ支払っているんだ。
※自己負担割合は、小学校入学前の子どもは2割、70歳以上75歳未満の高齢者の方の中には1割の方がいるため、3割以外の方も含まれています。



● 医療費の推移と国保税との関係は、どうなっているのかな？

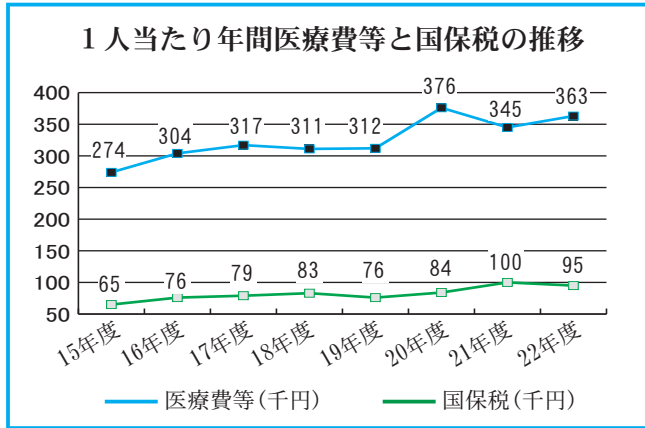
下のグラフのとおり、一人当たり年間医療費は入院の増加や医療技術の高度化、診療報酬単価の改定などから年々増加しているんだ。

平成20年度から22年度までの各1カ月平均及び一人当たり1カ月平均の医療費（入院・入院外・歯科・調剤・食事療養・訪問看護等の合計）は、グラフのとおりだよ。



● 今回の解説は、どうだった？
少しは役に立ったかな？

今回は、国民健康保険税（国保税の税率について、一定の世帯条件で、近隣市町との税額を比較する）について解説する予定だよ。こうご期待！



● 国保税についても、徐々に被保険者が減少し、医療費が増加していることから、一人当たりの平均国保税額が段々増えているんだよ。





子どもの変化を 理解しよう

青少年健全育成町民会議

11月は子ども・若者育成支援強調月間

11月は、青少年育成国民運動の一層の充実と定着を図る子ども・若者育成支援強調月間です。

現在、子ども・若者を巡っては、不登校、発達障害、ひきこもり、ニートなどの問題が深刻化しており、社会的孤立を防ぐために相談機関の充実をはじめ、地域の人々が思いやりを持って見守る温かい連携が求められています。

今回は、支援が必要な子ども・若者の増加の要因である、時代の変化が子どもを変えている状況を本年度の「青少年健全育成のつどい」で、千葉大学、明石要一教授が「子どもの変化に対応した学校・町づくり」の演題で講演した中から紹介します。

1 遊び体験が少なく、基礎体力が不足している
今の子どもの小さい頃から特定のスポーツをやっており、そのスポーツは得意であるが、他のスポーツに対する応用が45歳以上の人と比べると劣る。

これは、幼児期、児童期の遊び体験がものすごく減っていることに原因がある。

ドッジボールのうまい人は昔も今も変わらないが、昔の下手な人は、とにかく逃げ回ってチームに貢献した。が、今の下手な子どもは身体能力が弱く、ボールと立っていてボールに当たっている。

2 日本の子どもはチャレンジしない

なぜか日本の子どもたちはサッカーでもシュートをしなない。勝負をしなない。

授業中、小学校2年生までは手を挙げる、チャレンジする。小学校3、4年生あたりから手を挙げようか、下げようか周りを見張っている。5、6年生は完全に下を向く。中学1年生は中間考査までは手を挙げる。中学2、3年生は全員が下を向いている。

アメリカやドイツ、フランスの中・高校生は手を挙げておれに当たると指パッチンをする。北海道にはチャレンジ

精神、フロンティアスピリットがあるのだから、今一度北海道から道外へメッセージを送ってほしい。

3 今の小中学生は集まるけれども相談して意思決定ができない

ヨーロッパの少年サッカーチームと日本のユースチームが試合をすると、ハーフトタイムにヨーロッパの選手は、集まって議論して後半のフォーメーションを自分たちで決めて、後半の戦い方を監督、コーチにチェックしてもらう。

日本の選手は、疲れたとか、雑談が多く、後半のフォーメーションは全部監督、コーチが決めてくれる。自分たちで意志決定ができない。

これは、学校でも地域社会でも自分から言わなくても全て生活できることに起因している。45歳以上の人は秘密基地をつくって遊びやルールを相談して遊んだ体験があるから意志決定ができた。しかし、今の子どものような体験が乏しく意志決定ができない。

4 男に元気がない
肉食女、草食男というが、

これは小学生にも出現している。運動会の花形は応援団長だが、女性が3、4割出ている。児童会長も女性が増えている。中学校では、女性の生徒会長が4割ほど増えている。文化祭の実行委員長は6割、合唱コンクールの指揮者は7割、英語スピーチコンテストは9割女性が占めている。女性ほとんど変わっていないが、男が駄目になった。肉食男、草食女両方がほしい。

5 子どもたちは、大人と同じ生活スタイルをしている

かつては、子どもの時間と大人の時間があった。家庭では子どもの時間が終わったのでテレビを消そうね、寝ましようねというのがあった。今は、ボーダーレス。午後11時以降に寝る千葉県の6年生は35%おり、朝が遅い。栄養ドリンクを飲んだり、スケジュールを書いた手帳を持ち歩く小学生もいる。こういうのを子どもの大人化という。子どもには手帳も栄養ドリンクもいらない。これを何とか断ち切って子どもの時間を用意してほしい。